

令和元年9月定例会

平成30年度決算 事業等説明資料

(単位:円)

会計名等	下水道事業特別会計			設置目的	公共用水域の水質の保全と生活環境の向上を図る。						
決 算	歳 入①		平成30年度	平成29年度	増 減	歳 出②		平成30年度	平成29年度	増 減	
	1 分担金及び負担金		15,358,575	13,583,860	1,774,715	1 総務費		14,840,517	11,650,914	3,189,603	
	2 使用料及び手数料		276,182,099	279,178,948	△ 2,996,849	2 事業費		752,307,219	781,345,578	△ 29,038,359	
	下水道使用料(現年分)		273,102,119	275,892,957	△ 2,790,838	宮津湾流域下水道維持管理負担金		266,729,560	252,224,890	14,504,670	
	3 国庫支出金		153,645,000	157,775,400	△ 4,130,400	公共下水道施設整備事業		378,574,734	450,790,974	△ 72,216,240	
	4 繰入金		542,175,116	557,252,226	△ 15,077,110	宮津湾流域下水道建設負担金		54,558,000	35,073,000	19,485,000	
	一般会計繰入金		536,110,364	551,359,004	△ 15,248,640	3 公債費		849,460,883	846,714,464	2,746,419	
	5 繰越金		41,441	38,960	2,481	市債償還元金		698,241,205	680,740,837	17,500,368	
	6 諸収入		221,388	823,003	△ 601,615	市債利子		105,206,632	165,815,281	△ 60,608,649	
	7 市債		629,000,000	631,100,000	△ 2,100,000	4 予備費		0	0	0	
	建設地方債		278,300,000	326,700,000	△ 48,400,000						
	合 計		1,616,623,619	1,639,752,397	△ 23,128,778	合 計		1,616,608,619	1,639,710,956	△ 23,102,337	
			平成30年度	平成29年度	増 減						
	翌年度に繰り越すべき財源③		15,000	41,441	△ 26,441						
	実質収支 (①-②-③)		0	0	0						
決算概要	<p>【決算の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流域下水道維持管理負担金及び建設負担金等は増となったものの、施設整備事業の減により、歳出総額は減少した。</li> <li>・歳入総額については、施設整備事業の減に伴う国庫補助金及び市債の減等により、減少した。</li> <li>・一般会計繰入金については、下水道使用料が減、流域下水道維持管理負担金及び市債償還元金が増となったものの、資本費平準化債の増により、前年度に比べ約15,250千円減となる536,110千円となった。</li> </ul> <p>【特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度末での施設概成に向けて整備を進めてきたが、7月豪雨災害への対応により工事に遅れが生じ、事業の一部を繰り越すこととなった。平成30年度は15.1haの整備を行い、平成30年度末の面積整備率は91.5%（対前年度比+3.0ポイント）、人口普及率は69.5%（対前年度比+0.9ポイント）となった。</li> <li>・平成30年度末の市債残高は9,583,557千円（対前年度比△69,241千円）</li> </ul>										
備 考											
担当部署	建設部 上下水道課 管理係						TEL	45-1633	特 6		